

補助金等支出明細書

(様式)

1. 補助金等の名称	平成21年度 科学研究費補助金 研究成果公開促進費 研究成果発表(B)		
2. 課題名	素粒子の対称性の破れ -- ノーベル物理学賞受賞を記念して --		
3. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	南部、小林、益川博士の同時ノーベル賞受賞を記念し、また、2009年度に本格稼働する大型加速器実験LHCの実験が開始されるこの時期に、「素粒子の対称性の破れ」について青少年を含む一般の人々に向けて、最新の素粒子物理学研究の現状と目指すものを伝える事を目的とする。ノーベル物理学賞を受賞された先生をお招きし、物理学を志す若い世代に向けて、直接基礎物理学研究の面白さ、科学的な論理に立ったものの考え方や創造性の重要性を伝える。また、このシンポジウムの開催は、一般の方々に、日本物理学会の活動および成果を伝え、科学研究の成果を社会に還元するための絶好の機会となる。		
(2) 具体的内容	シンポジウムは、11月23日(月・祝)13:00?17:00に、大阪府立大学Uホール白鷺にて、950名の参加者を得て開催した。 開会挨拶:馬越健次(兵庫県立大学)現大阪支部長、奥野武俊(大阪府立大学学長・理事長) 講演1)「対称性の破れとは?」林青司(神戸大学)(45分) 内容:素粒子の対称性の破れについての初歩的な解説 講演2)「質量の起源を探る 素粒子実験の最前線-」山崎祐司(神戸大学)(45分) 内容:大型加速器実験LHCの実験など最近の素粒子実験の最前線についての解説 講演3)「対称性の破れが宇宙を創る」村山斉(東京大学)(45分) 内容:最新の観測的宇宙論に基づき、対称性の破れを通じて素粒子の極微の世界と宇宙の広大な世界が繋がれていることの解説 講演4)「パリティやCPの破れは何を意味するのか」益川敏英(京都産業大学)(45分) 内容:ノーベル賞受賞に関する業績についての解説 パネルディスカッション(30分) を行った。 参加者全体のうち、大学生約400名、高校生以下100名であった。質疑応答、パネルディスカッションの時間には中学生や高校生からの質問も活発にあり活気に満ちたシンポジウムとなった。若い世代に物理学の面白さを伝えるという本シンポジウムの目的を良く果たすことができた。		
4. 交付先特例民法法人の名	社団法人日本物理学会		
5. 交付実績額			1,300 千円(A)
6. 補助金等における管理費			
(1) 人件費			0 千円
(2) 一般管理費			0 千円
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
		千円	
	合 計	0 千円	
	合 計	0 千円	
7. 外部への支出			
(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
			千円
	合 計		0 千円(B)
(2) (1) 以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	会場借料	(株)ハートス	117 千円
	消耗品費	コーナン商事他	9 千円
	謝金	講師他	364 千円
	その他	トライカラー他	810 千円

			千円
			千円
			千円
		合 計	1,300 千円
8. その他			
	内 容		金 額
			千円
		合 計	0 千円
9. 再補助・再委託等の割合			0 %(B/A)